

<http://www.asmo1.co.jp>



Corporate Presentation

2019.12.2

2020年3月期

中間決算説明

Code:2654



商号

～活力ある企業風土を育成する～

株式会社アスモ

ASMO CORPORATION

事業方針

超高齢化社会を迎える日本において、
多方面から必要とされる企業を目指して
各事業の「**ストロングポイント**」を的確に見極め
「**事業間のシナジー**」を最大限に発揮し、社会発展に貢献します。

企業概要

2019年9月末現在



設立
資本金
発行済株式数

1975年4月26日（3月決算）
23億2,327万円
15,145,175株（自己株式 1,124,420株）

代表取締役
主要株主

代表取締役社長 長井 尊（2012年10月就任）※（株）Persons Bridgeの元代表
※（株）Persons Bridge 58.4%（株）ベストライフ 10.9% 長井博實 7.7% 福山良二 1.2%

収益セグメント

- 食肉卸売事業（①食肉の輸出入②食肉、食肉加工品の販売）
- 給食事業（介護施設、病院、事業所、学校などに向けた給食の提供）
- 介護事業（①訪問、居宅介護事業所の運営②有料老人ホームの運営）
- 外食(海外)事業（香港における外食店舗の運営）
- その他（①グループ会社の統制・管理、不動産賃貸 ②管理型信託商品の販売
③少額短期保険商品の販売 ④台湾における外食店舗の運営）

連結子会社
本社社員
連結従業員

12社 ※詳細はP3をご参照
【本社】東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル25階(2014年4月 大阪市住之区から本社移転)
1,492名
本社16名 食肉卸売事業15名 給食事業509名 介護事業805名 外食事業134名 その他事業13名

主要取引先

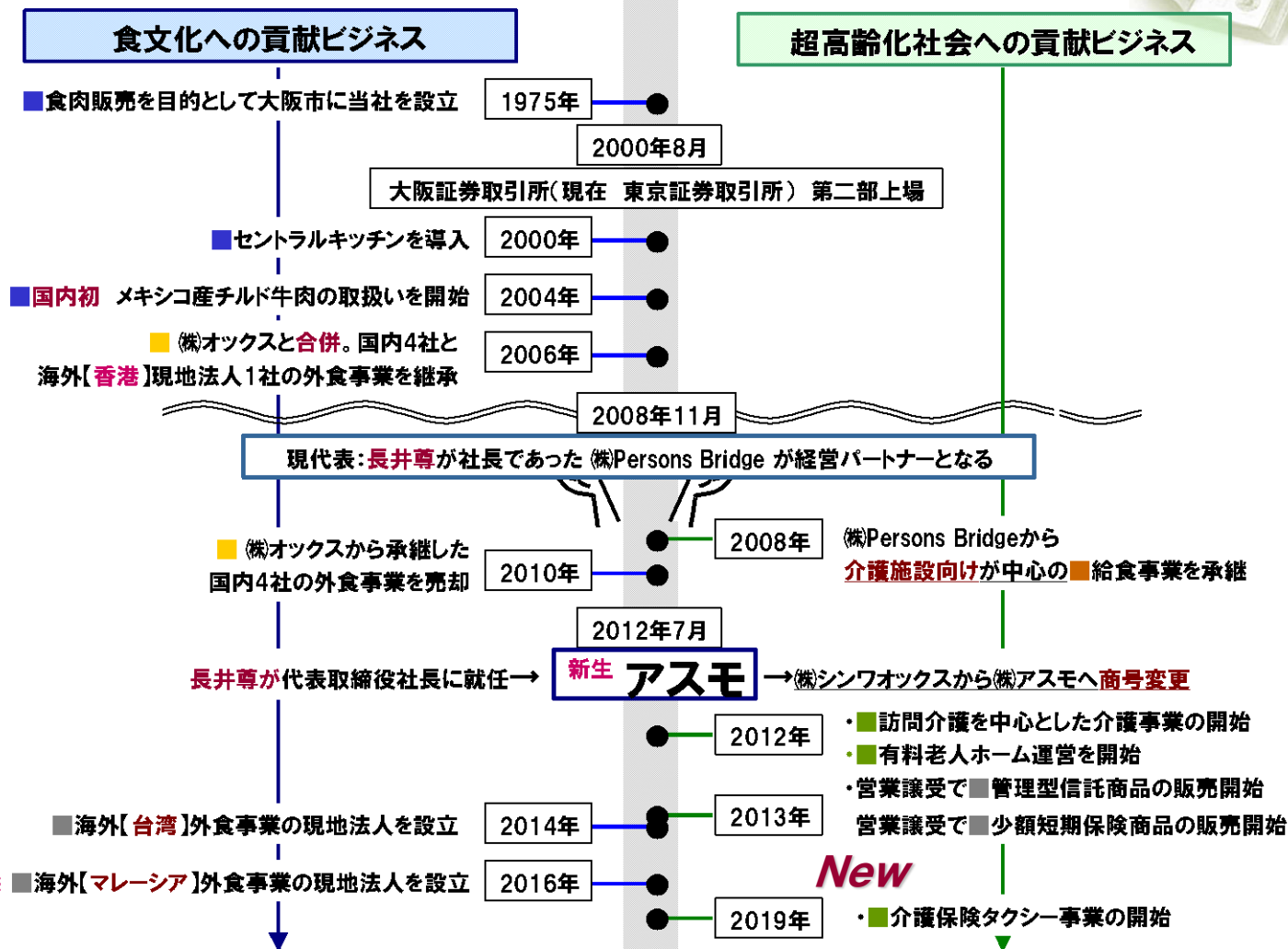
（株）ベストライフ 丸大フード(株) 四国物産(株)（株）ハーモニック 各種医療機関 各種学校 その他社員食堂



“食文化の貢献”事業に加えて、2012年から“超高齢化社会への貢献”事業を展開中

- 食肉卸売事業
- 給食事業
- 介護事業
- 外食店舗事業

ASMO Company history Since 1975



ご参考※ 海外【マレーシア】外食事業は非連結子会社

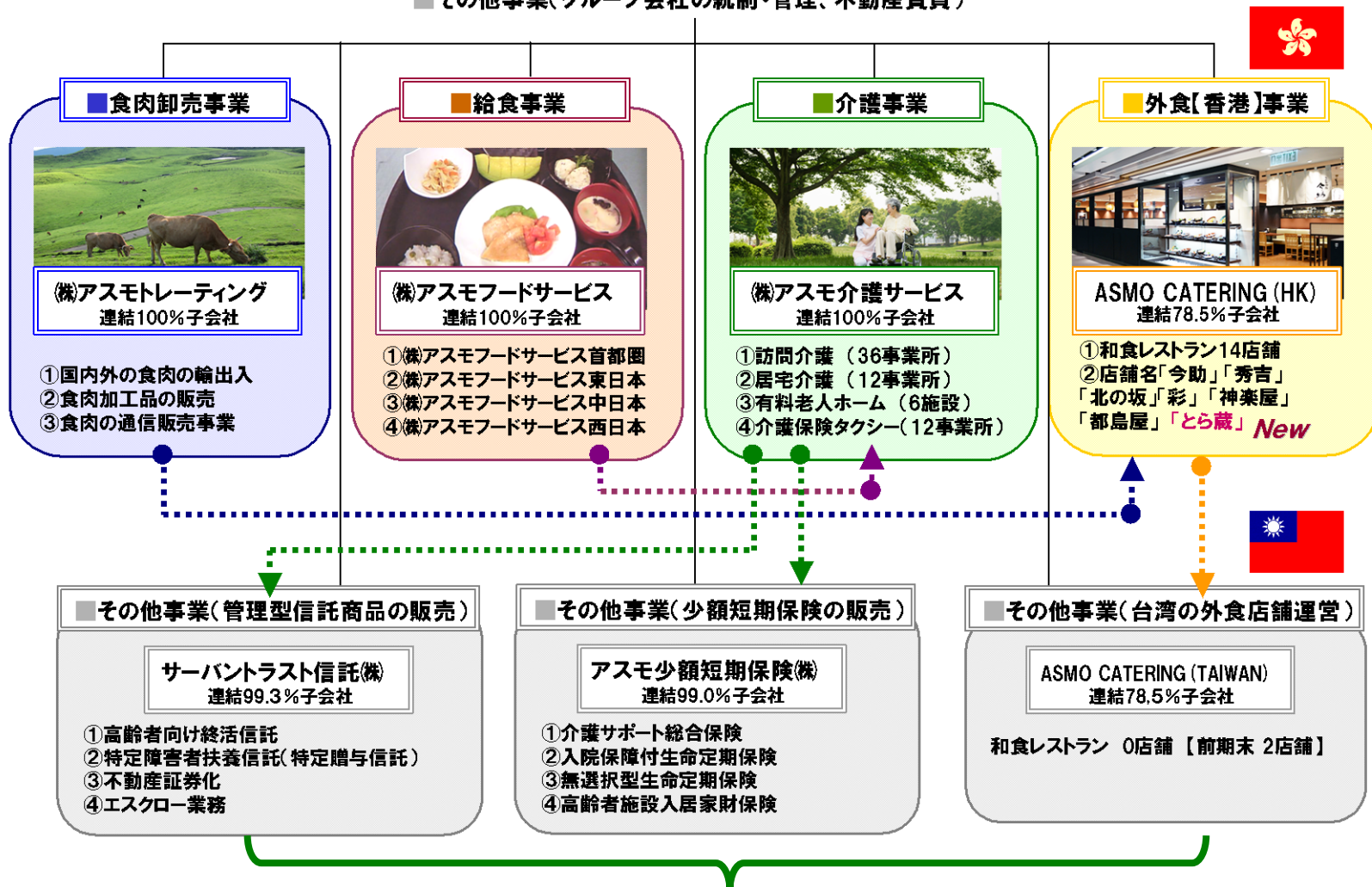
2013年4月～純粋持株会社体制

●……【事業間のシナジー効果】……▶

アスモ

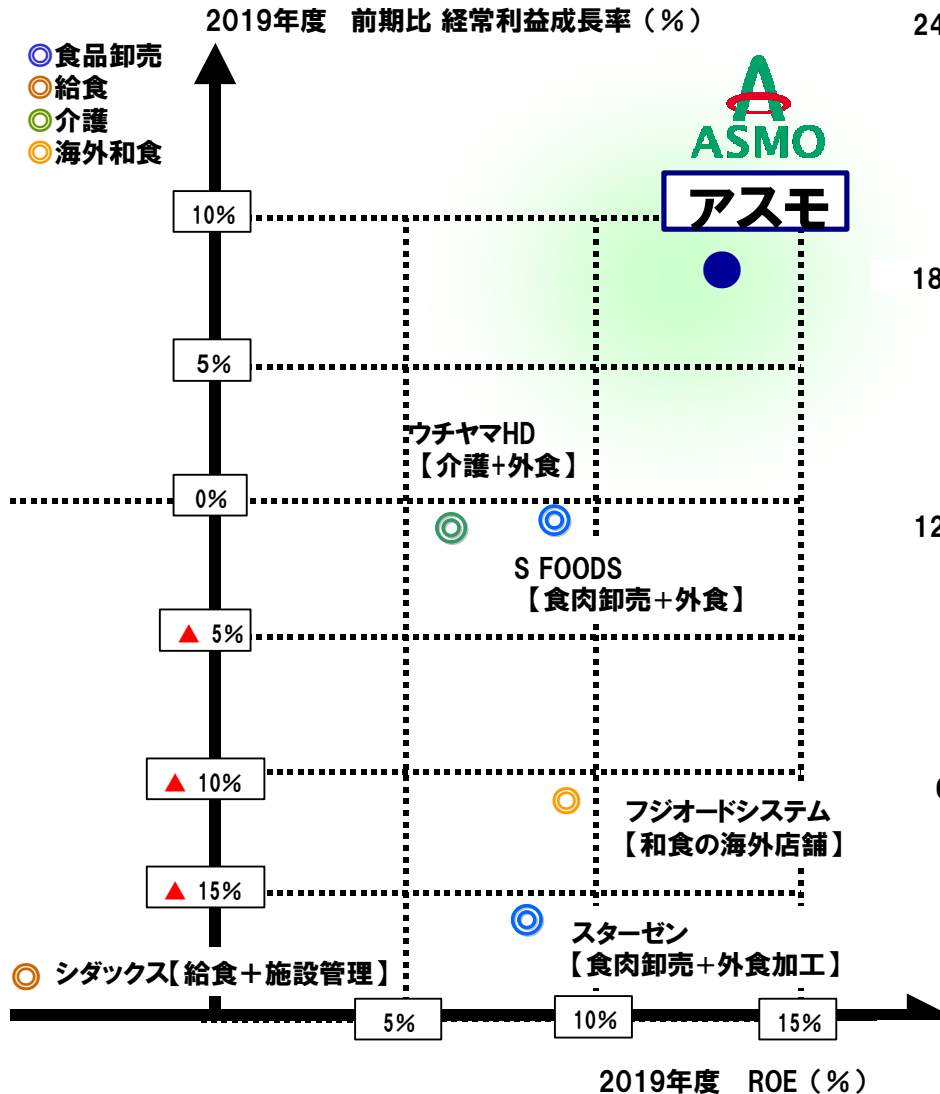
2019年9月末現在

■ その他事業(グループ会社の統制・管理、不動産賃貸)

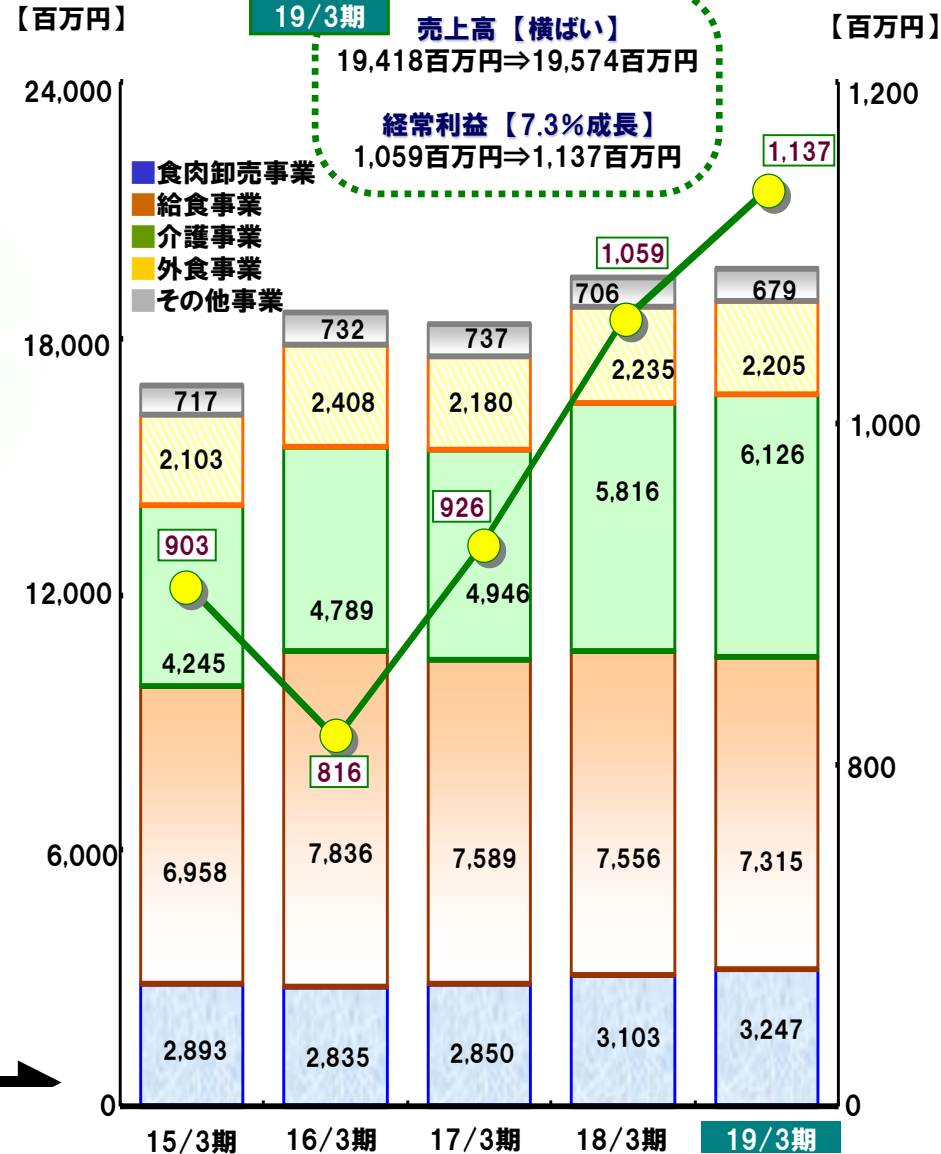


各事業の“ストロングポイント”を的確に見極め、“各事業間のシナジー”を最大限に発揮

2019年度 経常利益成長率【縦軸】とROE【横軸】
（複合型事業）他社比較【連結ベース】



売上高【左軸】と経常利益【右軸】の推移



2020年3月期中間
前年同期比較

売上高	: 1.8%成長	9,941百万円【前年同期 9,765百万円】
営業利益	: 16.0%成長	607百万円【前年同期 523百万円】
当期利益	: 14.4%成長	378百万円【前年同期 331百万円】

20年3月期中間 セグメント別売上高

単位:百万円 (切り捨て)	19/3期中間	20/3期中間	前年同期比
■食肉卸売事業	1,544	1,778	15.1%
■給食事業	3,650	3,737	2.4%
■介護事業	3,062	3,184	4.0%
■外食(香港)店舗事業	1,163	976	▲16.1%
■その他事業	344	264	▲23.1%
売上高	9,765	9,941	1.8%

- メキシコ産牛肉の関税低下。販売価格への還元が高評価
輸入鶏肉の売上高が前年同期比2.4倍成長
- 19/3期 不採算受託施設の契約解除で微増
- 介護支援契約者の安定的な増加(前年同期比 56名増加)
- 香港の家賃高騰の影響。3店舗減の14店舗経営
香港デモの深刻化で中心街店舗が苦戦
- 外食(台湾)店舗事業の2店舗閉鎖で減収

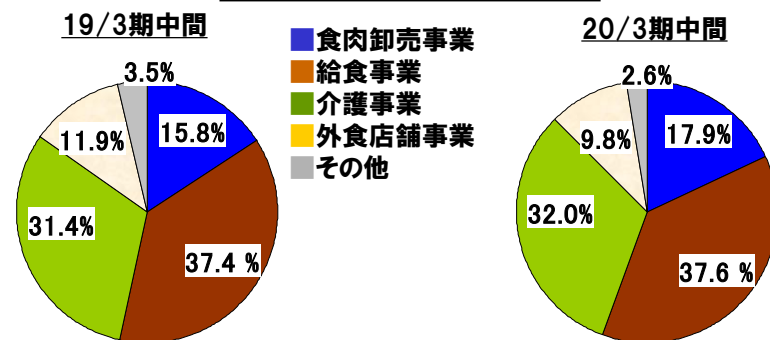
20年3月期中間 セグメント別営業利益率

期末ベース	19/3期中間	20/3期中間	増減
■食肉卸売事業	2.1%	2.8%	0.7%
■給食事業	7.4%	6.8%	▲0.6%
■介護事業	10.2%	12.7%	2.5%
■外食(香港)店舗事業	▲3.2%	▲5.3%	▲2.1%
■その他事業	9.5%	16.1%	6.6%
営業利益率	5.4%	6.1%	0.7%

- 高収益率 通信販売事業の売上高が前年同期比21.1%成長
- 人件費の上昇
大型台風の影響で青果仕入価格の高騰
- 介護事業
有料老人ホーム施設の入居率上昇
- 香港の家賃高騰の影響=百貨店店舗からロードサイド店舗へ移行
香港デモの深刻化...中心街店舗(百貨店店舗・警察本部近隣)
- 不採算事業の外食(台湾)店舗事業の2店舗閉鎖

単位:百万円 (切り捨て)	19/3期 中間	構成比 (%)	20/3期 中間	構成比 (%)
■ 食肉卸売事業	1,544	15.8%	1,778	17.9%
■ 給食事業	3,650	37.4%	3,737	37.6%
■ 介護事業	3,062	31.4%	3,184	32.0%
■ 外食店舗事業	1,163	11.9%	976	9.8%
■ その他事業	344	3.5%	264	2.6%
売上高	9,765	100.0%	9,941	100.0%
売上原価	7,412	75.9%	7,668	77.1%
売上総利益	2,352	24.1%	2,272	22.9%
販売管理費	1,828	18.7%	1,665	16.7%
営業利益	523	5.4%	607	6.1%
営業外収益	17	0.1%	15	0.1%
営業外費用	4	0.0%	8	0.0%
経常利益	536	5.5%	614	6.2%
特別利益	0	0.0%	-	0.0%
特別損失	9	0.0%	2	0.0%
税金等調整前当期純利益	527	5.3%	612	6.1%
法人税・住民税及び事業税	196	2.0%	233	2.3%
法人税調整額・非支配株主損益				
四半期純利益	331	3.4%	378	3.8%

セグメント別売上高の構成比



労務费率・人件费率(対売上高比率)

単位:百万円 (切り捨て)	19/3期 中間	構成比 (%)	20/3期 中間	構成比 (%)
労務費 (売上原価)	3,442	35.3%	3,492	35.1%
人件費 (販売管理費)	751	7.7%	693	7.0%
合計	4,193	42.9%	4,185	42.1%



20/3期中間 販売管理费率の低下要因

【海外店舗数の減少による家賃・人件費の減少】

- 外食(香港)店舗事業 前年同期比 3店舗減
- 外食(台湾)店舗事業 19/3期第4Q 2店舗閉鎖

単位:百万円 以下切り捨て

【資産の部】	19/3期	20/3期 中間	増減
流動資産合計	6,879	6,882	3
固定資産合計	1,469	1,441	▲27
資産合計	8,348	8,323	▲24

【負債の部】	19/3期	20/3期 中間	増減
流動負債合計	2,523	2,241	▲282
固定負債合計	240	281	40
負債合計	2,764	2,522	▲241

【総資産の部】	19/3期	20/3期 中間	増減
株主資本	5,381	5,619	238
包括利益累計額	202	181	▲21
純資産合計	5,583	5,801	217

【CFの状況】	18/3期 中間	19/3期 中間	20/3期 中間
営業活動によるCF	705	576	73
投資活動によるCF	▲57	▲94	▲4
財務活動によるCF	▲76	▲79	▲79
現金及び現金同等物 四半期末残高	3,168	3,823	4,210

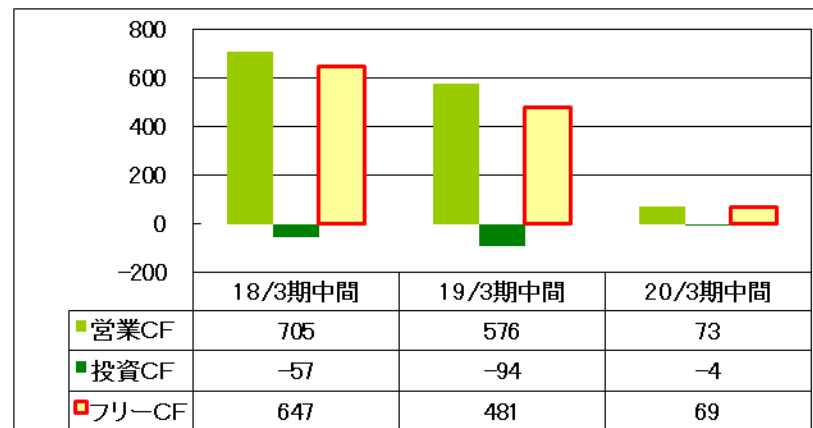
(単位:百万円)	19/3期	20/3期 中間	増減
現金及び預金	4,295	4,281	▲14
受取手形・売掛金	2,036	2,012	▲24
商品・貯蔵品	270	273	2

(単位:百万円)	19/3期	20/3期 中間	増減
支払手形・買掛金	609	496	▲113
未払金	664	623	▲40
有利子負債※	57	138	80

※ 短期借入金のみ リース債務を含む

	19/3期	20/3期 中間	増減
自己資本比率	65.9%	68.8%	+2.9%

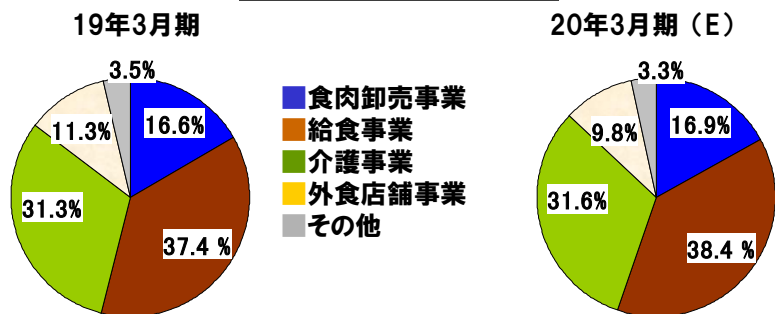
【百万円】 CFの推移(中間期ベース)



2020年3月期 セグメント別売上高(予測)

単位:百万円 (切り捨て)	19/3期	20/3期(E)	前期比
■ 食肉卸売事業	3,247	3,310	1.9%
■ 給食事業	7,315	7,520	2.8%
■ 介護事業	6,127	6,189	1.0%
■ 外食店舗事業	2,205	1,926	▲12.7%
■ その他事業	679	655	▲3.5%
売上高 合計	19,574	19,600	0.1%

売上高構成比率(予測)



単位:百万円 (切り捨て)	19/3期	20/3期(E)	前期比
売上高	19,574	19,600	0.1%
売上原価	14,926	15,182	1.7%
売上総利益	4,648	4,418	▲5.0%
販売管理費	3,528	3,293	▲6.7%
営業利益	1,120	1,125	0.4%
経常利益	1,037	1,150	1.1%
当期純利益	681	683	0.2%

EPS(円)	48.6	48.7
ROE(%)	13.1	11.8
1株の配当金(円)	10.0	10.0
【配当性向】	【20.6%】	【20.5%】

2020年3月期予想

業績計画 Point

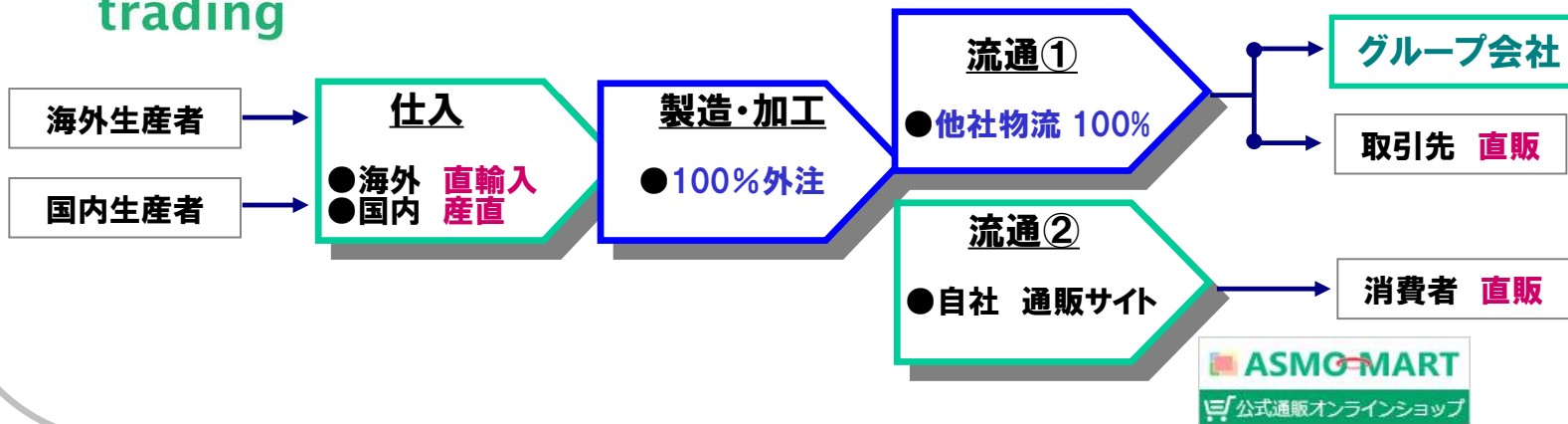


- 【1】 ■ 食肉卸売事業・・・19/3期同様に、通信販売事業とメキシコ産チルド牛肉の売上成長を予測
- 【2】 ■ 給食事業・・・・・・・19/3期に改善した営業利益率を維持しながら新規受託施設の開拓に注力
- 【3】 ■ 介護事業・・・・・・・訪問介護の収益率低下に対応できる収益体制を構築。20/3期も継続。
20/3期は、将来成長に向けた、有料老人ホーム施設の新規開発に注力
- 【4】 ■ 外食店舗事業・・・・19/3期末合計17店舗の売上高予測。新規のロードサイド店舗の開発に注力。
- 【5】 ■ その他事業・・・・・・・外食(台湾)事業の2店舗閉鎖で減収。少額短期保険事業の好調で収益率は上昇

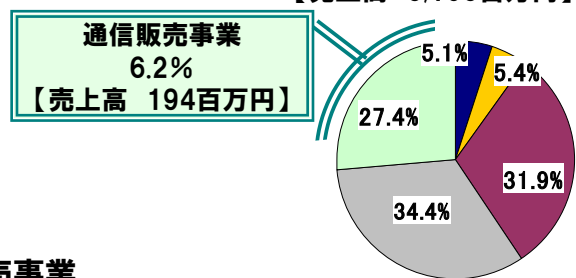
■食肉卸売事業



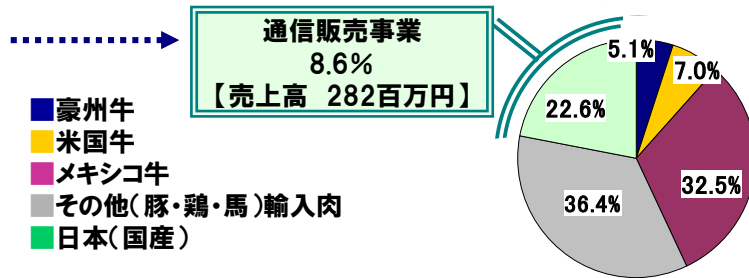
当社独自のフードバリューチェーンの構築



18年3月期
【売上高 3,103百万円】



19年3月期
【売上高 3,247百万円】



■食肉卸売事業

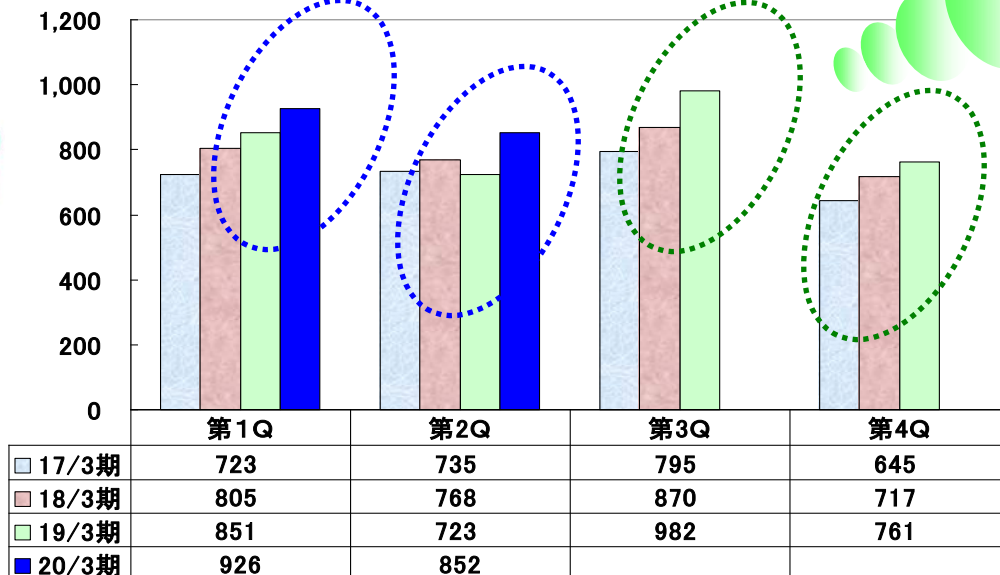
Strong Point

- 【1】 効率経営の徹底……製造・物流部門を自社で持たず、経営資源を「仕入と営業」に集中
- 【2】 ジャストインタイム……他社物流100%のアウトソーシング化。適切な数量、価格、時間にお客様へご提供
- 【3】 積極的な開発……2004年6月に日本初メキシコ産冷蔵牛肉の取り扱いを開始
- 【4】 高品質管理の食品……アスモグループの各事業の※マーチャンダイジング(MD)政策の基盤

※マーチャンダイジング(MD)

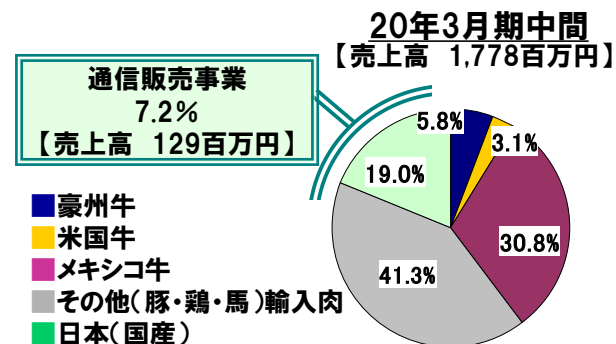
「食品政策」「食品化計画」の欲求・要求に合う食品を、適切な数量、価格、タイミング等で提供するための企業活動

【単位:百万円】 ■食肉卸売事業 直近4期の四半期別売上高の推移



■2019年3月第3Q以降
高付加価値商品が高評価

■2020年3月中間期
・メキシコ産チルド牛肉 安定的成長
・通信販売事業が前期中間比 21.1%成長



■主力商品メキシコ産チルド牛肉の販売が好調



- 【1】商品価値(高品質・低価格)により顧客支持獲得
- 【2】不定期仕入を定期仕入に移行→安定供給を実現

■通信販売事業で自社開発の人気商品を創出



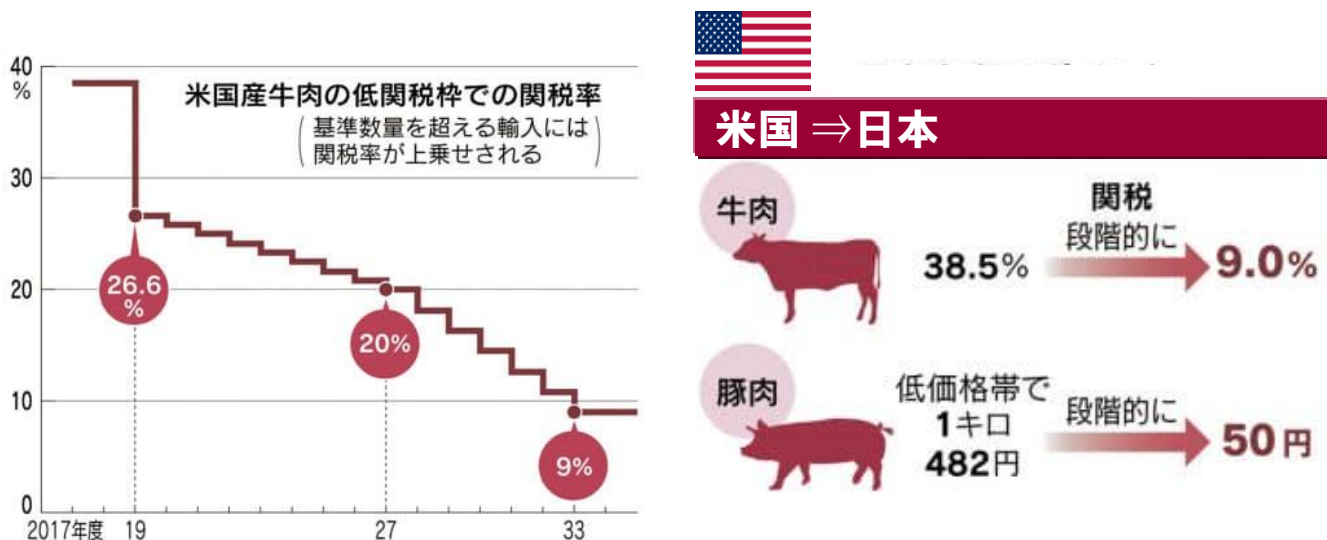
- 【1】魅力的な商品提案と営業努力により販売先拡大
- 【2】銘柄牛を使用したギフト用商品がヒット。増産体制へ

輸入肉の関税低下による市場拡大の予測

■19年3月期  TPP効果で先行してメキシコ産牛肉の関税低下。販売価格への還元が高評価

New

■2019年11月10日 日米貿易交渉の最終合意で米国肉の関税率低下が2020年から実行

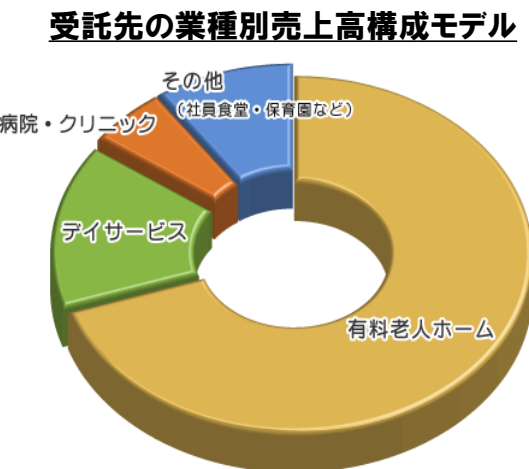


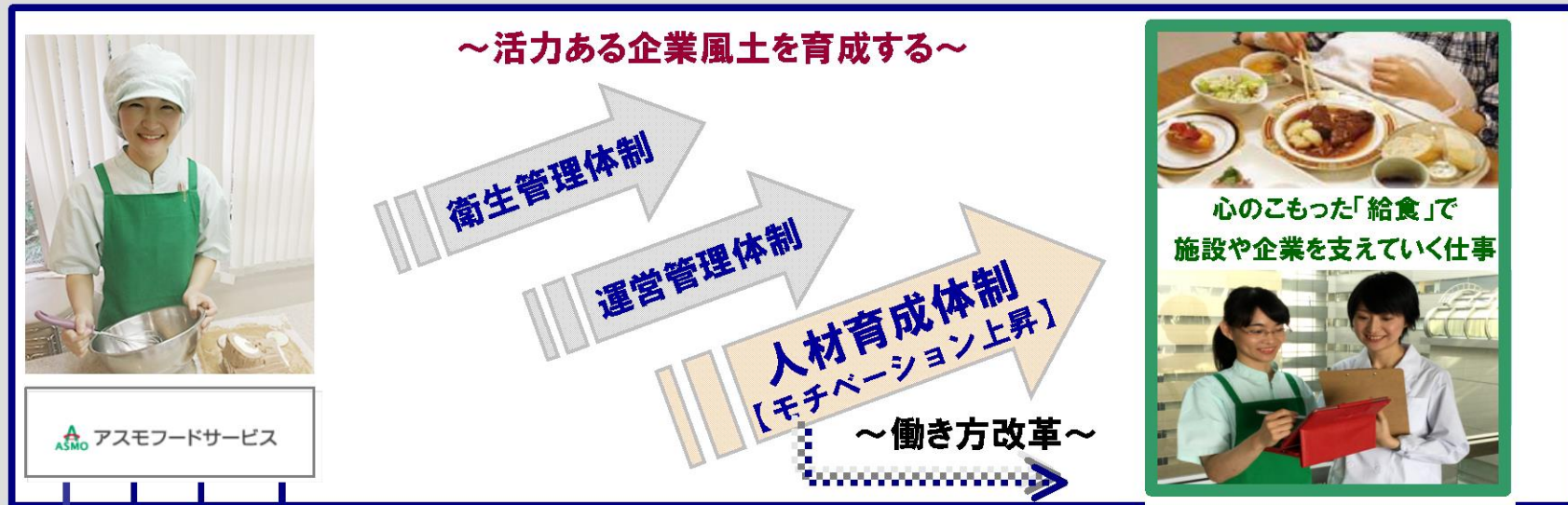
Strong Point Synergy



Strong Point

- 【1】超高齢化社会の中で「高齢者福祉施設」「病院・医療」が主要取引先で安定的成長
- 【2】女性の就業率上昇による「保育園・幼稚園」向けの需要の高まり





受託契約数の推移

エリア	18/3期	19/3期	増減
首都圏	86	86	0
東日本	53	51	-2
中日本	56	54	-2
西日本	77	67	-10
合計	272	258	-14

衛生管理研修



マグロ解体ショー



握り寿司イベント



毎月の郷土料理シリーズ

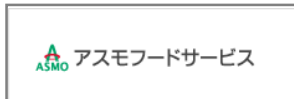


～活力ある企業風土の育成～

- 【1】不採算取引の見直し……収益率の改善
- 【2】研修カリキュラムの充実…従業員のスキルアップ
- 【3】各種イベントの実行……モチベーションの上昇

Strong Point Synergy

■給食事業



介護施設向け給食

■株主第2位

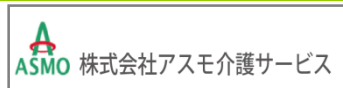


介護業界の大手
全国174施設運営

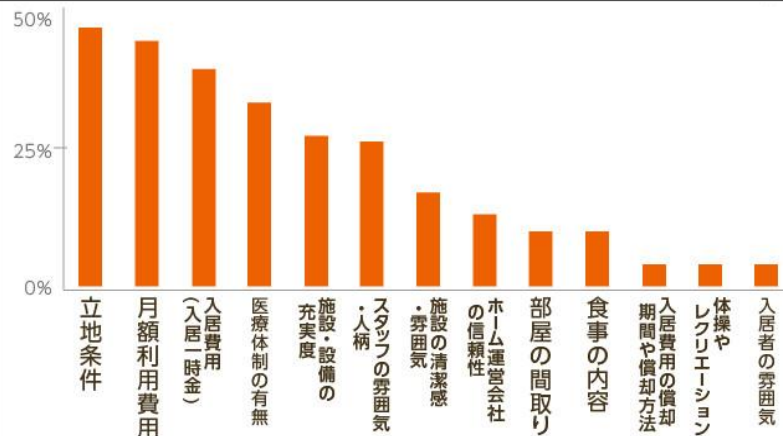
(2019年3月末 現在)



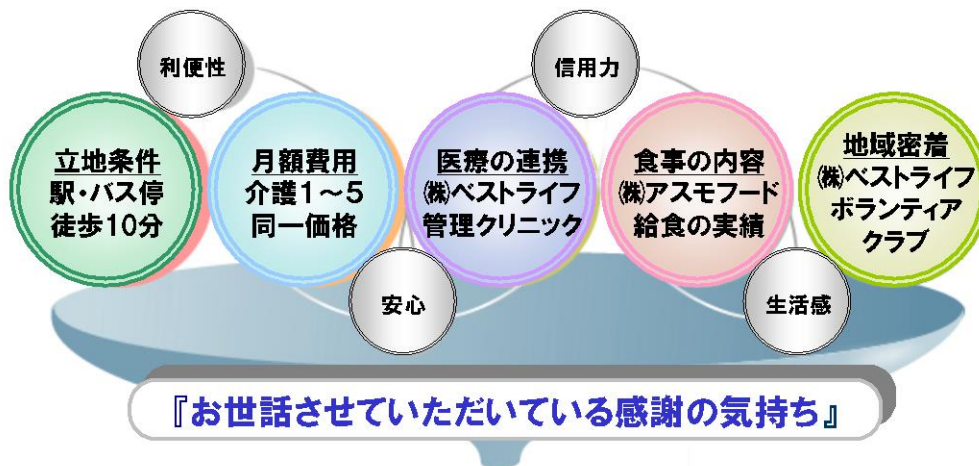
■介護事業



介護施設の選択基準アンケート【出所】LIFULL介護

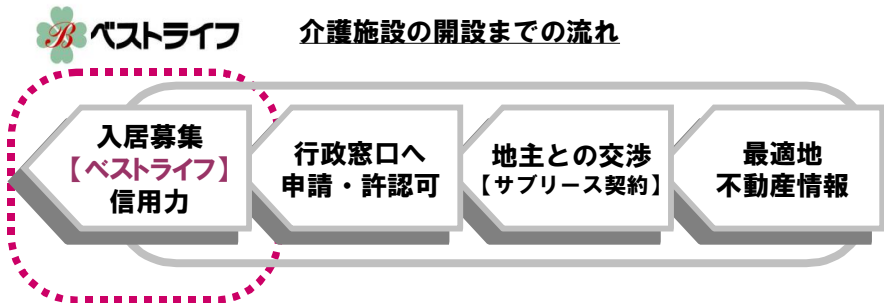


超高齢化社会時代の介護のプロ集団として品質を大切にしています



Strong Point

- 【1】業界大手の(株)ベストライフとFC契約を締結。ブランド力を活用して地域密着型介護を展開
- 【2】介護施設向け給食事業で培った食事面の満足度は高評価



～活力ある企業風土の育成～

■ 2019年3月期『働くお母さん応援プロジェクト』を開始
 離職率の低下で人材募集費の削減効果を計画

■ キャリアパスと賃金体系の明確化
 ■ 教育制度や資格取得補助制度の拡充
 →社員モチベーションの向上→定着率UP

介護事業	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期
離職率	37.2%	25.9%	29.1%	22.8%

※2019年10月新設の「特定処遇改善加算」の活用により、今後更なる処遇改善を予定

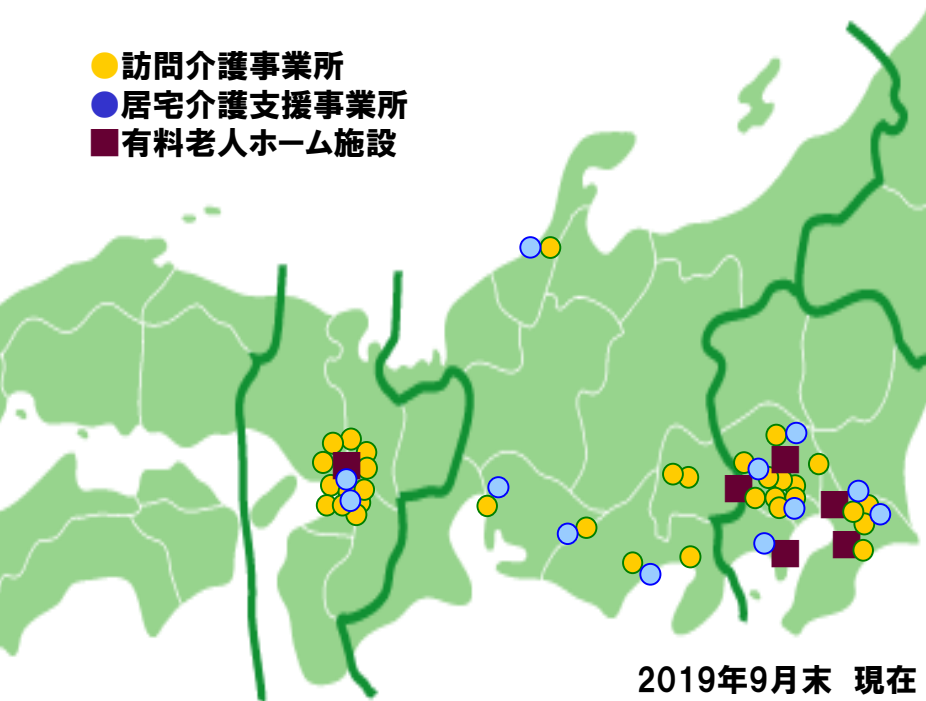
■介護事業 介護事業所数の推移

中間期ベース	19/3期 中間	20/3期 中間	増減
●訪問介護事業所	36事業所	36事業所	-
●居宅介護支援事業所	12事業所	12事業所	-
介護支援契約者	2,021名	2,077名	+56

■介護事業 有料老人ホーム数の推移

中間期ベース	19/3期 中間	20/3期 中間	増減
■有料老人ホーム施設	6施設	6施設	-
入居者数 (入居率)	318名 (82.3%)	328名 (84.9%)	+10

- 訪問介護事業所
- 居宅介護支援事業所
- 有料老人ホーム施設



2019年9月末 現在

2019年9月末 現在

当社の有料老人ホーム施設

2014年10月～（千葉市）

■①ベストライフ都賀 78室



2015年4月～（船橋市）

■②ベストライフ船橋薬園台 87室



2015年8月～（川口市）

■③ベストライフ鳩ヶ谷※ 52室



2016年10月～（横浜市）

■④ベストライフ金沢文庫Ⅱ 45室



※上記施設は2017年3月から
介護付き有料老人ホームとして営業開始。

2017年4月～（東京都）

■⑤ベストライフ三鷹 64室



2017年6月～（大阪府）

■⑥ベストライフ豊中 60室



超高齢化社会時代の介護プロ集団として医療連携・地域活動の支援を目指します。

New 2019年8月23日

- 「介護保険タクシー事業」における当社の特徴
- 【1】「第2種運転免許」と「介護資格」の2つの資格を保有する社員が運転
 - 【2】利用対象は、通院、レジャー、買い物等の幅広いニーズに対応
 - 【3】介護保険適用サービスを受ける方は、ケアプラン作成が対応できるように、当社の居宅介護事業所(12事業所)がサポートします
 - 【4】収益目標・・・平均利用者は1台当たり2人以上を目標



2019年10月末 12ヶ所の介護保険タクシー事業所の許認可を取得

■今後の介護保険タクシー事業所の開設予定

2019年11月末現在

	開設時期	事業所名	住所	65歳以上の人口数(市別)	車輛の台数
①	19年 8月	三鷹	三鷹市(東京都)	63,388名	2台
②	19年10月	武蔵村山	武蔵村山市(東京都)	32,544名	1台
③		府中	府中市(東京都)	62,938名	
④		柏	柏市(千葉県)	109,241名	1台
⑤	19年11月	船橋	船橋市(千葉県)	153,248名	1台
⑥		千葉	千葉市(千葉県)	251,616名	1台
⑦	19年11月	川口	川口市(埼玉県)	138,454名	1台
⑧		朝霞	朝霞市(埼玉県)	27,373名	1台
⑨		所沢	所沢市(埼玉県)	92,388名	1台
⑩	19年10月	横浜	横浜市(神奈川県)	916,147名	1台
⑪		大和	大和市(神奈川県)	56,771名	
⑫		富田林	富田林市(大阪府)	33,181名	
合計			①～⑫	1,937,289名	【計画】40台

【出所】上記の65歳以上の人口数は、2019年11月15日現在、各市のホームページに掲載している数値

Strong Point Synergy

■ 食肉卸売事業

ASMO アスモトレーディング

海外の食材調達力



■ 外食店舗事業

ASMO CATERING(H.K.)
COMPANY LIMITED 香港



香港で自社システムキッチンの構築ができる強みを活用！



香港の自社システムキッチン



香港に14店舗

Strong Point

香港で豊富な日本料理ジャンルをご提供できるトップクラス企業

- 【1】1985年5月から香港の現地法人が 外食店舗事業を継続中。高い信用力
- 【2】香港で自社システムキッチンの構築
- 【3】香港は日本食品の輸出が急拡大しており、日本食材が確保しやすい

2019年9月末 現在

メニュー	天麩羅・鮓・うどん	うどん・すき焼き	和惣菜	パスタ・オムレツ
店舗名	銀座 神楽屋	今助	彩 SAYA JAPANESE DELICATESSEN 和惣菜	Cafe Restaurant KORE KITANOZAKA 北の坂
店舗数	1店舗	2店舗	1店舗	1店舗
メニュー	お好み焼き・たこ焼き	お好み焼き・たこ焼き	ラーメン・カツ丼・カレー	
店舗名	とら蔵 承吉	都島屋 MIYAKOJIMA-YA	元祖 和風食堂 とら蔵	
店舗数	4店舗	1店舗	4店舗※	

※2019/3期「和風食堂とら蔵」を新規に3店舗オープン



百貨店 店舗



2019年3月期

『店舗立地』見直し

ロードサイド店舗



香港デモの深刻化



※上記はイメージ画像

■ロードサイド店舗：終日統一メニューから
ランチメニューとアフタヌーンメニューへ変更

■百貨店店舗：食べ放題店舗では
デザート強化中

2020年3月期中間

各店でのメニュー強化



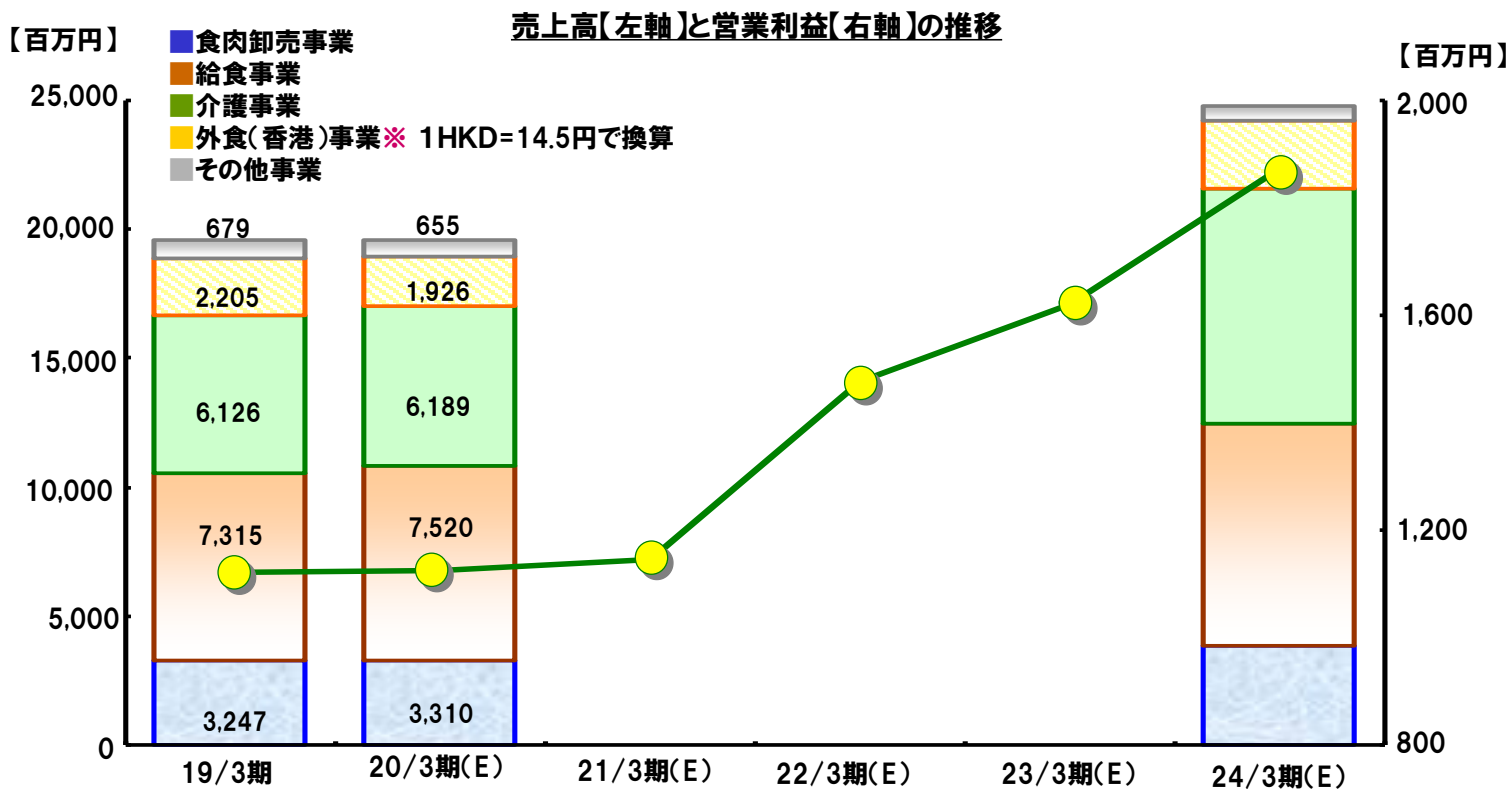
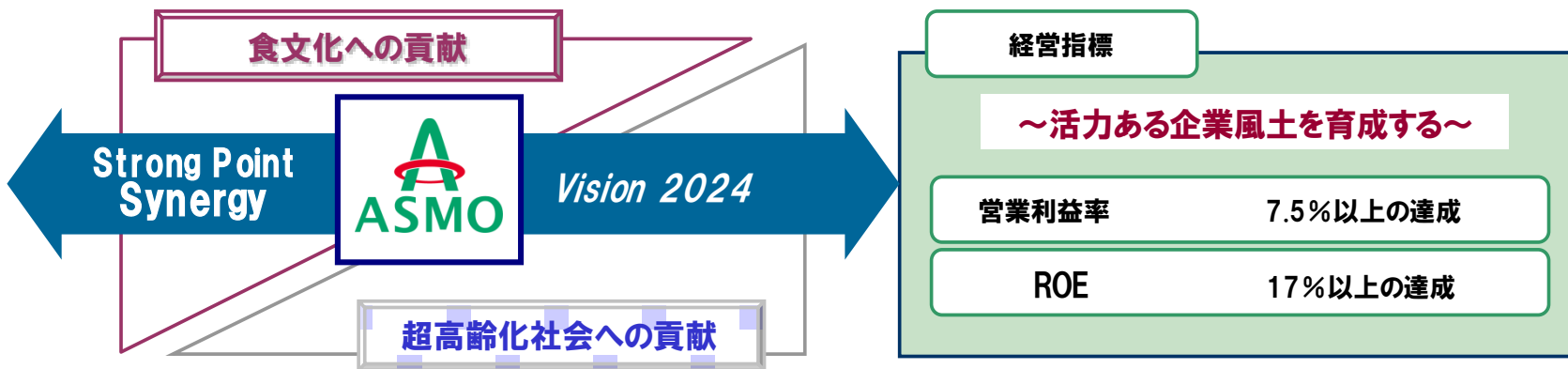
事業計画
Point

■外食店舗事業 家賃高騰とデモ問題への対応

- 【1】ロードサイド店舗※3店舗が好評
- 【2】大人気の香港ドンキホーテ2号店に出店予定
- 【3】自社システムキッチンでの生産委託加工事業は堅調

※「和風食堂 たら蔵」の主なメニューは、ラーメン、カツどん、牛丼、ちらし寿司、和風カレー等

香港の店舗数	18年3月	18年9月	19年3月	19年9月
百貨店 店舗	20	16	14	11
ロードサイド店舗		1	3	3
合計	20	17	17	14



ご注意:上記の中期利益計画は現在の当社の目標であり、確約するものではありません。



各事業の“ストロングポイント”を的確に見極め、“各事業間のシナジー”を最大限に発揮



お問い合わせ



ir@asmol.co.jp

本社：〒105-0013 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル25階
TEL. 03-6911-0550 FAX 03-6911-0551

本資料は、2020年3月期 中間決算の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2019年12月2日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、情報の正確性、安全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。